

監視官より容器包装のリサイクルの促進に関する政策に関する政策評価に係る調査協力依頼があった。

公正取引委員会、財務省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、
 ③関連調査等対象機関
 環境事業団、新エネル

務所において、総務省か

を求めることができる）
 このヒヤリングで日露
 に基づくもの。平成十三
 年一月から容器包装のリ
 サイクル促進に関する政
 策評価を実施している。
 対しての意見
 『リサイクル法全体に
 連サイドから次のような
 話があった。

律（以下容り法）の下で、一堂に会して話し合い、環境評価が為されていない、リサイクル資源でできた物が流通するような政策が行われていない。

1 容器包装のリサイクル
2 容器包装のリサイクル
ル施策の目的、仕組み
ル施策の効果の発現状況

△各省庁バラバラの法令施行。リサイクル循環を考えると物事をひとつ

《審議会の問題点》

▽分別収集はリサイクル業界の職域なのに分別収集の責務を市町村にしたこと。

▽市町村の税金が使わずしも現場に精通していない。

▽自動車リサイクル法では経済産業省と環境省にそれぞれの審議会があること。

▽行政の人事異動が早

【合同委員会】
八月三十日の総務省ヒヤリングを受けて、リサイクル事業推進委員会及
てらられている。
▽三〇万人に対して保
管場所が一カ所に決めら
れている問題

分担金の負担を課すことでリサイクルしやすい製品の開発が見込める。▽リターナブルびんの導入は、ペットボトルの急増。リターナブルびんの減少。これが法律立案者の描くリサイクル

法施行前まで問題なかった。▽カレット、白・茶以外のミックスカレットの埋立問題 売れない物は結局埋め

▽原料発生場所にその原料を使う工場に対する支援策が必要。 ▽このような評価を継続して行っていきたい。 《総務省からのまとめ》	▽今回のヒヤリングは縦割り行政を改め、横割りにしていくための活動。 ▽今後、他の法律についても行っていく予定。 ▽今回の調査は最終的
---	---

材使用に関するデータ、
プはする。

▽再委託の禁止を見直
して欲しい
組合の本質は、組合員
による事業活動
○トン、行き先は中国、
総重量二五〇〇二八
新聞古紙コンテナ十一
協同組合
▽東京都資源回収事業

して国内で循環すべき物
なのには海外に出ているの
は法の不備。

▽民間経済のような経
済生活の重宝の導入

面は三月、菊土は豊
本、総重量約五〇〇トン、
行き先は中国、台湾、買
協同組合
雑誌古紙コンテナ二十

位の上位にすること。
▽税金を使わないリサイクル。
【組合による古紙輸出】
製紙メーカー値下げに
古紙価格で仕事や存続
の影響度、古紙輸出の必
要性など組合事業として
行つたための意識調査。実
施した組合は次の通り。

へ下げに対して新聞社大
 主六社に「民間リサイク
 ル機構を守る」ために関
 連業界と関係団体が一堂
 に会して話し合う場を設
 けること、古紙リサイ
 ため、コスト競争が必要

金属委員へ
 鉄源情報、家畜

日資連金属委員会(田

古紙リサイクル推進に関する質問状を提出した
【議事内容】

(四) 家電リサイクル・システムの現状等につき

は回収不可能な古紙価格
九五%以上を国内製紙原
料として使用されている
現状を踏まえ、民間リサ
イクリング

○「市民参加型電子機器
リサイクリング」と意見
交換会が開催された件に
つき「NPOの主旨は、

が類似するため、過般の回答をもって今回の回答とする。

▽市町村が「コスト負担」をして、地域回収業

頭に置くとして、本件につきさらに議論を深めたい」旨説明があり、直ちに討議に入った。

○田中委員長より「家

云も討議
R法、許認可
R法は、施行後、間が
より「青ナンバー」即ち
価で引き取るが、別勘定
で、前述「有価」を上回
る運賃を請求するという
工夫が必要となる。しか
し、この方法は、発生元

は有償の引取りが行われ、輸出されている形跡があるが、これは現在、ご存じの通りなかなか難

となることが、NPOで行
 場合は要許認可と思わ
 る。これをどうクリア
 するか。

加えて、日資車傘下業
 (業)については許認可不
 逆有償になっても4品目
 については、「それだけ
 を扱っている業者(回収

か。また、処理工程でいとなり、間屋業として受ける場合、廃棄物の中間処理許可取得の必要性を生ずる。つまり、疑問点を指摘。

「ISO14001」の許可だけではなく、フェーストとリサイクルの証明書を2産業廃棄物とスラップ有償売却とゼロ格と逆有償をして「専証取得を視野に入れざるを得ないとの発言があった。

古紙値下げに輸出、質問状、要望

八月三十日の総務省ヒ リングを受けて、リサ 古紙事業推進委員会及 古紙委員会の合同委員 で提言をまとめた。	▽三〇万人に対して保 管場所が「一カ所に決めら れている問題」
▽素材メーカーの責任 明確化	▽スチール缶以外の容 現状。

リターナブル容器を使うするのは品質面で大変苦勞があるため、集めリターナブルびんを割つ

▽その他紙容器の処理施設に許可が必要な点

いる現状。
▽カレット、白・茶以
のミックスカレットの
立問題
売れない物は結局埋め
まった。
法施行前まで問題なかつた。
た施設が法律の規制によ
り、業・施設の許可がな
ければ扱えなくなってい

▽原料発生場所にその原料を使う工場に対する支援策が必要。 ▽このような評価を継続して行っていきたい。 《総務省からのまとめ》	▽今回のヒヤリングは縦割り行政を改め、横割りにしていくための活動。 ▽今後、他の法律についても行っていく予定。 ▽今回の調査は最終的
---	---

材使用に関するデータ、
プはする。

▽再委託の禁止を見直
して欲しい
組合の本質は、組合員
による事業活動
○トン、行き先は中国、
総重量二五〇〇二八
新聞古紙コンテナ十一
協同組合
▽東京都資源回収事業

して国内で循環すべき物
なのには海外に出ているの
は法の不備。

▽民間経済のような経
済生活の重宝の導入

面は三月、菊土は豊
本、総重量約五〇〇トン、
行き先は中国、台湾、買
協同組合
雑誌古紙コンテナ二十

位の上位にすること。
▽税金を使わないリサイクル。
【組合による古紙輸出】
製紙メーカー値下げに
古紙価格で仕事や存続
の影響度、古紙輸出の必
要性など組合事業として
行つたための意識調査。実
施した組合は次の通り。

へ下げに対して新聞社大
 主六社に「民間リサイク
 ル機構を守る」ために関
 連業界と関係団体が一堂
 に会して話し合う場を設
 けること、古紙リサイ
 ため、コスト競争が必要

金属委員へ
 鉄源情報、家畜

日資連金属委員会(田

古紙リサイクル推進に関する質問状を提出した
【議事内容】

(四) 家電リサイクル・システムの現状等につき

は回収不可能な古紙価格
九五%以上を国内製紙原
料として使用されている
現状を踏まえ、民間リサ
イクリング

○「市民参加型電子機器
リサイクリング」と意見
交換会が開催された件に
つき「NPOの主旨は、

が類似するため、過般の回答をもって今回の回答とする。

▽市町村が「コスト負担」をして、地域回収業

頭に置くとして、本件につきさらに議論を深めたい」旨説明があり、直ちに討議に入った。

○田中委員長より「家

云も討議
R法、許認可
R法は、施行後、間が
より「青ナンバー」即ち
価で引き取るが、別勘定
で、前述「有価」を上回
る運賃を請求するという
工夫が必要となる。しか
し、この方法は、発生元

は有償の引取りが行われ、輸出されている形跡があるが、これは現在、ご存じの通りなかなか難

となることが、NPOで行
 場合は要許認可と思わ
 る。これをどうクリア
 するか。

加えて、日資車傘下業
 (業)については許認可不
 逆有償になっても4品目
 については、「それだけ
 を扱っている業者(回収

か。また、処理工程でいとなり、間屋業として受ける場合、廃棄物の中間処理許可取得の必要性を生ずる。つまり、疑問点を指摘。

「ISO14001」の許可だけではなく、フェーストとリサイクルの証明書を2産業廃棄物とスラップ有償売却とゼロ格と逆有償をして「専証取得を視野に入れざるを得ないとの発言があった。

Ⅱ東北六県再生資源組合連合会Ⅱ

第五十回東北大会開く

新会長に斎藤實氏(宮城県)を選出

東北六県再生資源組合連合会(高橋隆助会長)では、九月九日に福島県母畑温泉「八幡屋」において第五十回東北大会を開催した。

設置は福島県再生資源商工組合(近藤準一理事長)で、五十年という記念式典も挙行され、節目にふさわしい盛大な大会となった。

総会における業界功労者表彰は九名で、謝辞を受賞者を代表して早川孝雄氏が行った。受賞者は次の通り。

▽福島県 佐々木義人氏、早川孝雄氏

▽宮城県 鈴木勇一氏、左藤和子さん

▽山形県 林博氏、新田正男氏、新田一郎氏

▽秋田県 近江清彦氏、日資連福田啓治会長代理の平林久一副会长と福島県団体中央会長の和田徳昭企画管理部長が東北連合会の歴史の積み上げや継承に対して賛辞を贈った。

【平成十三年度総会】総会は、平成十二年度事業報告、決算報告、平成十三年度事業計画、予算案などが慎重審議され承認可決された。役員改選では、会長に

【記念式典】記念式典では来賓に佐藤栄佐久福島県知事、玄光一朗衆議院議員、相楽新平県議会議長、倉島光一中央会会長等が招かれ、五十周年を祝う挨拶を行った。また、五十周年というところで業界功労者特別表彰が行われ、謝辞を受賞者を代表して山形県の近藤勝志氏が行った。

式典は、高橋隆助前会長と橋本英行前副委員長に感謝状の贈呈が行われ、大会決議文の採択、連合会旗の伝達などが行われ閉会した。閉会後、記念講演会が開催され、古今亭志ん橋師匠が「くずやの清兵衛」の演題で、懇親会が盛大に開催された。

地域組織強化を更に

関資連第四十八回総会を開催

【総会】議長に茨城の古山景三氏、副議長に栃木の谷中勝典氏が選出され、平成十二年度事業報告及び決算報告、平成十三年度事業報告及び予算案などが可決された。審議された各議案とも可決承認された。

【磯市長祝辞】議長に茨城の古山景三氏、副議長に栃木の谷中勝典氏が選出され、平成十二年度事業報告及び決算報告、平成十三年度事業報告及び予算案などが可決された。審議された各議案とも可決承認された。

【磯市長祝辞】議長に茨城の古山景三氏、副議長に栃木の谷中勝典氏が選出され、平成十二年度事業報告及び決算報告、平成十三年度事業報告及び予算案などが可決された。審議された各議案とも可決承認された。

【総会】議長に茨城の古山景三氏、副議長に栃木の谷中勝典氏が選出され、平成十二年度事業報告及び決算報告、平成十三年度事業報告及び予算案などが可決された。審議された各議案とも可決承認された。

【磯市長祝辞】議長に茨城の古山景三氏、副議長に栃木の谷中勝典氏が選出され、平成十二年度事業報告及び決算報告、平成十三年度事業報告及び予算案などが可決された。審議された各議案とも可決承認された。

【磯市長祝辞】議長に茨城の古山景三氏、副議長に栃木の谷中勝典氏が選出され、平成十二年度事業報告及び決算報告、平成十三年度事業報告及び予算案などが可決された。審議された各議案とも可決承認された。

千葉市再資協が輸出

雑誌古紙を四ヶ月で二千万目標

千葉市再生資源化事業協同組合(岩泉敏昭理事長)では、九月より雑誌古紙の輸出を始めた。

これは、相次ぐ古紙の値下がりを受けて、このままでは既存の民間による古紙流通システム崩壊になりかねない状況であり、自らアクションを興すこととなった。

輸出内容は、九月十七日から二十八日にかけて総重量四万九千九百七十七キログラムの雑誌古紙を輸出した。雑誌古紙は、日ごろ連携している千葉市内の町内会、自治会など集団回収で千葉市再生資源化組合が集めている。

十月五日(金)に「持続可能な社会をめざす」交流会が千葉県立生活センターに於いて開催された。市民団体を中心に、安田八十五筑波大学教授、日本再生資源事業協同組合連合会、倉林喜一郎副会長、東京都資源回収事業協同組合、紺野武郎理事長、全国製紙原料商工組合連合会、畑俊一会長、関東製紙原料直納商工組合、栗原正雄理事長をはじめ実践の業界団体が一同に会した。

【交流会趣旨】これは、貴重な資源の浪費を抑えるために、資源を循環させる持続可能な社会が必須条件であるが、民間システムが息詰まっております。大量リサイクルでは循環が困難であり、環境への負荷が小さ

古紙ネットが交流会

持続可能な社会を目指して

【交流会趣旨】これは、貴重な資源の浪費を抑えるために、資源を循環させる持続可能な社会が必須条件であるが、民間システムが息詰まっております。大量リサイクルでは循環が困難であり、環境への負荷が小さ

【交流会】紺野武郎実行委員長より「中村正さんの新刊書」をひもとくという、循環社会構築のヒントとなるような刺激を(要約)と挨拶し、ブラジル、ペルー、デンマーク等各国で中村代表と共に活動して

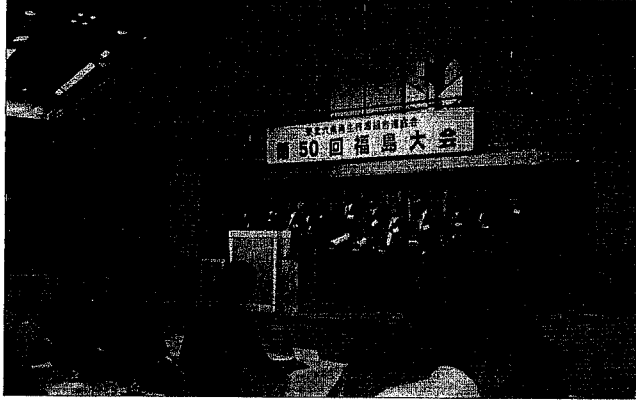
きた勝部欣一さんの乾杯の発声で交流会をスタート。各団体の代表が三分間スピーチを行いながら意見を発表し、ビデオ製作発表と試作上映、そして激励の後に中野聰恭さん(神奈川県資源組合副理事長)の尺八による「鶴の果籠り」の演奏で心を和やかにした。

中村正さんと「現場を知らない人が法律をつくり、出口がない大量リサイクル、自治体の責任の中で、資源循環の仕組みづくりが必要だ。コスト、エネルギーをかけてまわすのではなく、最小コスト・エネルギーで子供たちに手渡せる『持続可能な社会』のためにリサイクルしたい」と述べた。

【持続可能な古紙循環をつくる】十月二十七日に国民生活センターに於いてシンポジウムが開催された。

▽パネリスト 川口幸男経済産業省資源生活文化用品課長、深見啓司横浜環境事業局事業推進部政策課長、大居昌彦日本製紙連合会パルプ古紙部長、上田雄健関東製紙原料直納商工組合副理事長、紺野武郎日本再生資源事業協同組合連合会副会長、中村正古紙問題市民行動ネットワーク代表

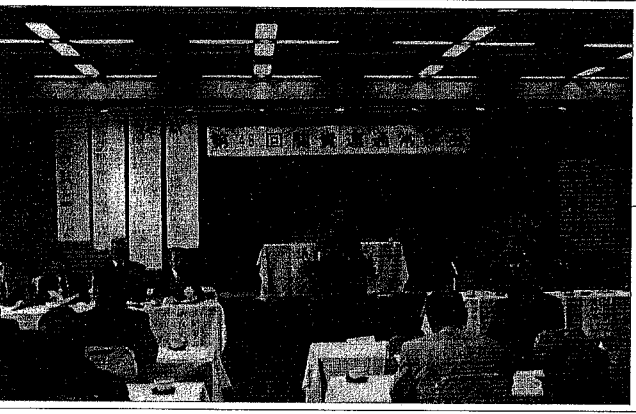
▽コーディネーター 倉阪秀史千葉大学法経学部助教授



【会長挨拶】萩原右一会長は「各県リサイクルの取組状況を申し上げ、会員の起案・承認する今総会を各行政方面に活かして頂ければ幸いです。スローガンにもある環境行政と対応した地域組織強化をさらに盛り上げたい」と述べ、総会を開幕した。

【会長挨拶】萩原右一会長は「各県リサイクルの取組状況を申し上げ、会員の起案・承認する今総会を各行政方面に活かして頂ければ幸いです。スローガンにもある環境行政と対応した地域組織強化をさらに盛り上げたい」と述べ、総会を開幕した。

【会長挨拶】萩原右一会長は「各県リサイクルの取組状況を申し上げ、会員の起案・承認する今総会を各行政方面に活かして頂ければ幸いです。スローガンにもある環境行政と対応した地域組織強化をさらに盛り上げたい」と述べ、総会を開幕した。



【交流会趣旨】これは、貴重な資源の浪費を抑えるために、資源を循環させる持続可能な社会が必須条件であるが、民間システムが息詰まっております。大量リサイクルでは循環が困難であり、環境への負荷が小さ

【交流会】紺野武郎実行委員長より「中村正さんの新刊書」をひもとくという、循環社会構築のヒントとなるような刺激を(要約)と挨拶し、ブラジル、ペルー、デンマーク等各国で中村代表と共に活動して

きた勝部欣一さんの乾杯の発声で交流会をスタート。各団体の代表が三分間スピーチを行いながら意見を発表し、ビデオ製作発表と試作上映、そして激励の後に中野聰恭さん(神奈川県資源組合副理事長)の尺八による「鶴の果籠り」の演奏で心を和やかにした。

中村正さんと「現場を知らない人が法律をつくり、出口がない大量リサイクル、自治体の責任の中で、資源循環の仕組みづくりが必要だ。コスト、エネルギーをかけてまわすのではなく、最小コスト・エネルギーで子供たちに手渡せる『持続可能な社会』のためにリサイクルしたい」と述べた。

【持続可能な古紙循環をつくる】十月二十七日に国民生活センターに於いてシンポジウムが開催された。

▽パネリスト 川口幸男経済産業省資源生活文化用品課長、深見啓司横浜環境事業局事業推進部政策課長、大居昌彦日本製紙連合会パルプ古紙部長、上田雄健関東製紙原料直納商工組合副理事長、紺野武郎日本再生資源事業協同組合連合会副会長、中村正古紙問題市民行動ネットワーク代表

▽コーディネーター 倉阪秀史千葉大学法経学部助教授

東資協で古紙輸出

組合員11社が新聞古紙280トン

東資協を契約窓口として、古紙輸出が成約し九月十日〜十四日にかけて積み込みが行われた。品種は新聞古紙、数量は二百八十トン。

東資協が組合として古紙の輸出を実施したのは二十数年ぶり。

今回は、東資協につづ

ベレーノ所有の東芝協組合も雑誌の輸出を実施し、それぞれベレーノ一社によりその出荷となった。積込みは、自社で可能な数社を除き直納問屋に委託された。それも今回の輸出は日資連の古紙委員会が決定された対策の先駆けとして試験的に行われたものであり、古紙値下げに対する回収業者の抗議と痛みを伴っても自助努力、回収業者が参入するに携わる問屋の職域であり、回収業者が参入する

き千葉市の回収業者の組合も雑誌の輸出を実施し、この流れを日資連全体に広げ、なおかつ継続させられるかが今後の鍵となろう。そのためには今回の輸出の費用面など、公表するデータを集集し、公表することが大切である。

【餅は餅屋】

本来、輸出事業は流通

のはいかなものかと言う意見もあろう。しかし、製造内のさまざまな製品の輸出部門が中国を始めとするアジア各国に移転される現在、当然製紙工場もそれに追従しよう。日本国内は古紙の発生源である。今後長期にわたり、輸出が続けられるとすれば、集直両業界の相互不憎の因に「輸出協力金」がある。内外価格差の現実が、輸出協力金の回収は理解しつつも、その実態は理解しきつものとするアジア各国に移転される現在、当然製紙工場もそれに追従しよう。日本国内は古紙の発生源である。今後長期にわたり、輸出が続けられるとすれば、集直両業界の相互不憎の因に「輸出協力金」がある。内外価格差の現実が、輸出協力金の回収は理解しつつも、その実態は理解しきつものとする

回收独自の恒久的輸出
古紙輸出事業化に 本格協議

昨今の古紙の恒常的なつた。

余剰紙、低価格化によって実質協賛を推進する集団回収など古紙回収事業の継続が困難な状態となっている。この窮状を打破するため、回収業界独自の恒久的な輸出事業の可能性を旨し、七月の理事会の承認により古紙の輸出に努めている。

古紙を輸出するには、まず古紙を積み込まねばならぬ。都内の店で独自にその作業をするのが難しく、直納問屋に依頼するので、横持ち・料・積込み料、輸出価格差などがあり赤字になつてしまふ。

回収業界独自の輸出事業をするには集団回収の継続のために組合員個々

の自覚と負担を伴う。

古紙の余剰は取扱量の七％と言われているが、それを輸出に回さないれば余剰はなくなる。余り物には値段無し」の論理から古紙価格の一方的値下げが行われるのであれば現状を打破するため回収業界も一体となつて輸出していかねければならない。

することによつて「信頼」への行動は必要不可欠となつてゐる。

【回収業者の反発】

直沽問屋の引き下げ続けるヤード仕切り価格では回収業者は採算割れになつてしまふ。行政回収で助成金類りのままではこの下げ幅を転嫁できず自ら打開策を積極的に行わねければならない状況

輸出は安定と信頼

回収業者として連携と協力

【回収業者の輸出】にある

奥銀、スミの値下
 存続の銅地に立たされ
 必死の思いの回収業者
 よる輸出の準備が整え
 れている。当然、メー
 価格と輸出価格で
 差があるが、今後の海
 進出メーカの一このを
 いうと国際価格の古紙
 への観点から、信頼を
 「輸出」は必
 もも取られ、手放しと市民
 事を取り、異業種は元
 だわると資源業者の必要
 所からの輸出が今後各地
 区で展開される勢いがあ
 る。また、委託業務にこ
 に出ただけではなく、発
 共同千葉市組合屋の輸
 送と古紙問屋による
 今回、東協協の輸出は
 千原市組合屋の輸出

となってくる。今儲かとか損をするのではな
必要などころへ供給
ることによって「信頼」
行動は必要不可欠と
している。

今後、日資連の古紙委
員会、リサイクル委員会

【回収業者の反発】直納問屋の引き下げ続き、組織力をもつてすれば、生き残り競争に勝つ手段を手に入れることになる。適正古紙価格とななる。適正古紙価格と理解する市民と行政に理解して戴くこと、自らの殺した行動が不可欠なのは確かだ。

来年の新体制を控え

集荷と製紙工場の集約化が鍵

大手製紙メーカーの値

げを受けて、集荷・回収とも「生き残る」ため動きが活発化している。古紙市況は軟調一辺倒より品種によっては安価な下価格が廃掃法の問題もあり下げ切れず、地域お

新聞、雑誌を洋紙メー
の値下げに続き、板
古紙の確保に影響が出て
きている。こうした古紙

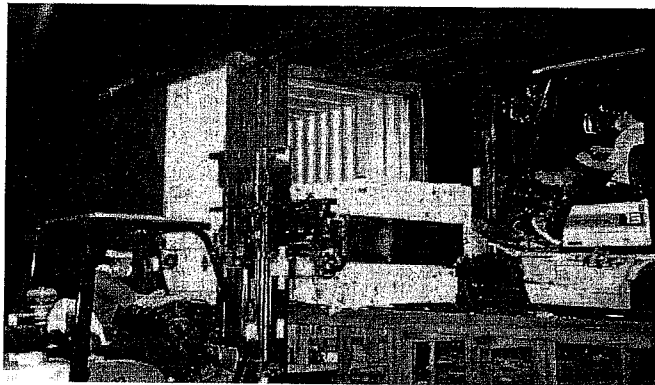
紙メーカーも値下げ、来四月からの新体制を控とメーカー枠「確保」の狭間で苦悩している問屋

も少なくない。

【製紙メーカー工場】直し同様、クリアできない製紙メーカーでは生き残るために大手工場の整ルプの依存度が大きい。今、原料の七〇％を輸入

最新設備の拡充、必要とする純パルプとのバランスも難しくなってきた。

生産コストを考えた海外進出など巨大化しつつある製紙メーカーの集約化は進められる状況にある。



神奈川県資源回収商業協同組合
理事長 萩原 右一
〒220-0023 横浜市西区平沼1-40-17
モンテペルデ横浜311号室
TEL 045(313)6100 ・ FAX 045(313)6161

東京都資源回収事業協同組合

理事長 紺 野 武 郎

〒101-0061 千代田区三崎町 2-21-1
東京資源会館

TEL 03(3263)3676 ・ FAX 03(3263)3679

株式会社 サンウエスパ
代表取締役 原 幸 男
〒504-0811 岐阜市若福町 7-5
TEL 058(231)2362・FAX 058(294)2994

奈良県資源回収事業協同組合
理事長 吉田 勝重
〒635-0021 大和高田市池尻 8 2 - 1
TEL 0745 (52) 5824 ・ FAX 0745 (53) 3533

大阪府再生資源事業協同組合

理事長 入江金男

〒567-0865 大阪府茨木市横江2-9-45

TEL 0726(30)6730 ・ FAX 0726(30)6731

岡山再生資源事業協同組合
理事長 佐藤 章 夫
〒700-0026 岡山市豊成3-14-20
TEL 086(902)0011 ・ FAX 086(902)0140

栃木県リサイクル協同組合連合会
会 長 阿久津 守光
〒322-0035 鹿沼市朝日町1952-2
TEL 0289(62)2239 ・ FAX 0289(62)2246

千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会
会 長 倉 林 蒼 一 郎
〒260-0015 千葉市中央区富士見 2-22-6
富士ビル 5 階
TEL 043 (227) 8273 ・ FAX 043 (227) 2033

埼玉県再生資源事業協同組合

理事長 細 田 益 弘

〒338-0826 浦和市大久保領家3 4 3 - 7

TEL 048(852)9048 ・ FAX 048(852)9075

日資連と連携し古紙循環プ

ト製作）
リサイクルの優等生である。リサイクルの既存の民間循環型システムを、そのまま崩壊させないために、古紙循環型に現状と問題点を明らかにする分かりやすいビデオ製作をし、広く訴えています。

▽新刊の紹介
『持続可能な社会をめざす』中村正子著、『面白読本 どうするゴミ問題』白読本 から現状を踏まえ、子供たちに手渡せる「持続可能な社会」への転換換換がいかに必要なのかを、川問題から考えている。川上の大量生産や大量消費システムを変えず、大量生産と資源原価を低減し、リサイクル推進」

業協同組合、日本生活協同組合連合会、デボジツト法制定全国ネットワーカー、全国製紙原料商工組合連合会、東京都リサイクル事業団体連合会、日本再生資源事業協同組合、日本連合会、止めようダイオキシン汚染、関東ネトウキシ等が参加協力している。《古紙ネットお問ひ合わせ先》

▽事務局分室Ⅱ東京都

目黒区中央町一の十四の
十六、電話・FAX〇〇
三(三七一三) 31722
中村正子

▽年会費〃個人・二千
円 団体・六千円郵便振
替口座00540・5・
17095加入者名〃古
紙ネット

境を旨指して、情報の収
集、研究、分析、各対応
を実践している人がいる。
一般市民の方々に当然
知識を得ているが、何よ
りも大切なことは「自ら

積極的に取り組み、国を自治体に対して意見表明述べ、また持続可能な社会づくりを一步一歩実現していくのです。

我々資源業界の実践者界の知識と能力はまだ二分に発揮されていないように感じられます。確に同業ライバでありますが、組合運営を通して、何に対してどういう対応すべきなのか。組合での立場、いち業者として立場、国民として立場、その他各それぞれの立場で何をすべきなのか。永遠課題かも知れませんが、実務業者として発揮すべき力は皆さんがもっていると思います。

「白古紙を集めるのに大変で、大手なら集まるが、他社が作り始めたなら無い合いになり、また古紙脱墨してつくるとコスト的に莫大のロスが出てくる。でも質的にもとてもでかい」といったリアンスの話をしていた。

▽古紙配合率は検査しても分からないので、自己申告となると専門家がいついた。無理をさせる方向に追いつめないほうがよいのではなか。

▽配合率100%の新開用紙をつくらっているメーカーがあるが、すべてのメーカーがつくったら紙質劣化で成り立たなくなるだろう。

税金の投入、ゴミ減量による自治体資源ゴミが流入し、資源循環させてきた再生資源業者の市場原理が働かず苦境を迎えている。大量リサイクルでは行き詰まる。環境破壊は・

大畠衆議員と幸田環境ジャーナリスト

社会システムを作り上げなければ長続きしない

循環型社会に向けて

互いに話し合うことが大切



大畠 リサイクル社会が実現しようというところで一生懸命努力されている日資連の日常の活動

幸田 私は環境問題に取り組む大きなきっかけになったのは「地球の温暖化問題」でした。その言葉が聞かれた時は、とても信じられないような思いでしたが、当時、一九八八年後半位であったと思いますが、アメリカの知人より参考資料を送っていただきました。そして、それを読んでみるうちに、温暖化問題以外にも、オゾン層の破壊、酸性雨、増え続けるゴミの問題、大気・土壌・海洋・淡水の汚染など、世界の多くの国々がこうした環境問題を抱えている。人間と自然環境との間にこんなにも多くの問題が起きていることを知りました。

政治の大事な仕事の一つは、現在の問題点をどうにか国民に伝えることだと思えます。その上で国民の声を聞いて、互いに話し合いながら必要な政策を執っていくものだと思えます。残念ながら、環境問題について政治から発信するメッセージがあまりにも少ないということがあります。幸田 私は、リサイクル問題については、大きくわけて二つ重要だと考えています。第一は、未然防止の政策です。循環型社会形成推進基本法の中での順位付けがあつて、先ずはリデュース、次にリユース、リサイクルとなつていますが、リサイクルだけに頼るのではなく、リデュース、リユース、リサイクルの順で進めるべきです。幸田 リサイクルは、リデュース、リユース、リサイクルの順で進めるべきです。幸田 リサイクルは、リデュース、リユース、リサイクルの順で進めるべきです。

循環型社会形成推進基本法は、環境問題の根本的な解決策として、リデュース、リユース、リサイクルの順で進めるべきです。幸田 リサイクルは、リデュース、リユース、リサイクルの順で進めるべきです。幸田 リサイクルは、リデュース、リユース、リサイクルの順で進めるべきです。

循環型社会の構築は、リデュース、リユース、リサイクルの順で進めるべきです。幸田 リサイクルは、リデュース、リユース、リサイクルの順で進めるべきです。幸田 リサイクルは、リデュース、リユース、リサイクルの順で進めるべきです。

太田原 本日は、衆議院議員の大畠章宏先生(民主党)と環境ジャーナリストの幸田ジャーミーンさんにお越しいただき、環境・リサイクル問題についてお話を伺いたいと思います。

それでは、最初にリサイクルシステム議員懇談会の幹事長、日資連の最高顧問として御活躍されている大畠先生に、最近のリサイクル問題について口を切っていただきましょう。

大畠 リサイクル社会が実現しようというところで一生懸命努力されている日資連の日常の活動

幸田 私は環境問題に取り組む大きなきっかけになったのは「地球の温暖化問題」でした。その言葉が聞かれた時は、とても信じられないような思いでしたが、当時、一九八八年後半位であったと思いますが、アメリカの知人より参考資料を送っていただきました。そして、それを読んでみるうちに、温暖化問題以外にも、オゾン層の破壊、酸性雨、増え続けるゴミの問題、大気・土壌・海洋・淡水の汚染など、世界の多くの国々がこうした環境問題を抱えている。人間と自然環境との間にこんなにも多くの問題が起きていることを知りました。

政治の大事な仕事の一つは、現在の問題点をどうにか国民に伝えることだと思えます。その上で国民の声を聞いて、互いに話し合いながら必要な政策を執っていくものだと思えます。残念ながら、環境問題について政治から発信するメッセージがあまりにも少ないということがあります。幸田 私は、リサイクル問題については、大きくわけて二つ重要だと考えています。第一は、未然防止の政策です。循環型社会形成推進基本法の中での順位付けがあつて、先ずはリデュース、次にリユース、リサイクルとなつていますが、リサイクルだけに頼るのではなく、リデュース、リユース、リサイクルの順で進めるべきです。幸田 リサイクルは、リデュース、リユース、リサイクルの順で進めるべきです。

循環型社会形成推進基本法は、環境問題の根本的な解決策として、リデュース、リユース、リサイクルの順で進めるべきです。幸田 リサイクルは、リデュース、リユース、リサイクルの順で進めるべきです。幸田 リサイクルは、リデュース、リユース、リサイクルの順で進めるべきです。

循環型社会の構築は、リデュース、リユース、リサイクルの順で進めるべきです。幸田 リサイクルは、リデュース、リユース、リサイクルの順で進めるべきです。幸田 リサイクルは、リデュース、リユース、リサイクルの順で進めるべきです。

循環型社会の構築は、リデュース、リユース、リサイクルの順で進めるべきです。幸田 リサイクルは、リデュース、リユース、リサイクルの順で進めるべきです。幸田 リサイクルは、リデュース、リユース、リサイクルの順で進めるべきです。